

# 乳腺外科

■田中 久美子

■佐藤 洋子

## 展望

現在、日本人女性の12人に1人が生涯の中で乳癌にかかる可能性があるといわれ、年間9万人が罹患している本邦で、質の高い乳癌の診断と治療を行うことは重要な社会的使命だと認識しています。

現状で、日本の乳癌の診療にはいくつかのトピックがあります。

- ①日本人女性に適切な検診とは？～検診のベネフィットとハーム～
- ②日々進歩する、乳癌の画像診断や病理診断
- ③手術治療の選択に関して～温存か全摘（再建）か、腋窩郭清の適応等～
- ④多岐にわたる薬物療法～治療効果とQOL，医療費の問題～

ほか、HBOC（遺伝性乳癌卵巣癌症候群）やサバインシップ、緩和ケア 等々。

このように、乳癌そのものは体表臓器に生じる「しこり」ですが、その診断と治療はさまざまな側面を持つと同時に、日々の変化や進歩が大変めざましい領域です。

当科は、2013年から乳腺疾患のみを扱う外科系診療科として診療を開始し、3年を経過することができました。幸いこの間に症例数も徐々に増加し、スタッフも1人から3人となり、院内の関連する職種と密に連携するチーム医療が構築されつつあります。

進行・再発症例や合併症のある方の受診も多く、外科治療・薬物療法・放射線治療などを組み合わせ他科と連携し診療を行っています。

診療科としての基礎体力はかなりついてきたので、地域の中でさらにこれを展開していきたいと考えて

います。

当科の特徴は「適切でQOLを考慮した親切的な乳癌診療」です。スタッフはそれぞれに個性の異なる女性医師ですが、その基本コンセプトは共通しています。外来看護師2名は専任でマネジメントや患者対応などを行い、クラークも2人体制で専任です。

外来ぐるみでリスクの少ない、きめ細やかな対応ができるよう心がけています。

<資格認定や可能な検査の歩み>

2013.3 センチネルRI法開始

2013.7 乳房再建用エキスパンダー・インプラント施設登録

2013.8 Oncotype DX 検査可能

2014.10 乳癌学会認定施設登録

2014～2016

超音波講習会（技師）A/B判定（認定）

4名

## 診療実績

### 原発性乳がん手術症例

2013年（3月～）

66例（部分切除39／全摘27／再建10）

2014年

85例（部分切除44／全摘41／再建12）

### 再発症例治療

進行・再発治療もチーム医療で行っています。

### グループ病院応援

田中久美子

2014.8～ 湘南厚木病院 乳腺外来 火曜日

## 学術業績

1. 田中久美子：乳腺管状腺腫の1例. 第22回 日本

---

乳腺疾患研究会，熊本，2014，2.

2. 田中久美子：豊胸術後乳房にPET陽性所見がみられ，肺門部腫瘍の原発巣鑑別に苦慮した1例．第23回 日本乳癌画像研究会，高松，2014，3.
3. 田中久美子：維持透析患者における乳癌術後治療の検討．第22回 日本乳癌学会，大阪，2014，7.
4. 田中久美子：Bev-Pac療法を含む集学的治療で局所コントロール可能となった巨大な乳腺粘液癌の1例．第52回 日本癌治療学会，横浜，2014，8.
5. 佐藤洋子：乳腺に生じた悪性リンパ腫の4例．第33回 日本乳腺甲状腺超音波医学会，別府，2014，10.
6. 田中久美子：充実性腫瘍を呈するDCIS．第33回 日本乳腺甲状腺超音波医学会，別府，2014，10.
7. 田中久美子：原発性乳癌T4症例に対する集学的治療の経験．第76回 日本臨床外科学会，郡山，2014，11.
8. 佐藤洋子：針生検で推定された乳腺管状腺腫の1例．第76回 日本臨床外科学会，郡山，2014，11.
9. 田中久美子：術後17年目で脳転移が発見されたLuminal B乳癌の1例．第11回 日本乳癌学会関東地方会，大宮，2014，6.
10. 佐藤洋子：高齢者に発症した乳腺原発悪性リンパ腫の4例．第11回 日本乳癌学会関東地方会，大宮，2014，6.

## その他

### <院内カンファレンスの開催>

#### 術前・術後カンファレンス

外科および乳腺外科スタッフ

#### 乳腺—放射線治療カンファレンス

放射線治療科 隔週開催

#### 乳腺—オンコロジーカンファレンス

オンコロジーセンター 隔週開催

#### 乳腺画像病理カンファレンス

病理医，超音波・放射線技師，月1回開催

#### 乳がん検診カンファレンス

健康管理センター医師，超音波・放射線技師，月1回開催

規模は未定ですが，関連病院の技師等も含めた形で，近い将来「湘南ブレストカンファレンス」の開催を企画しています．近い医療圏で顔が見える仲間を増やしたいと思います．

#### **SKGH Team Breast !**

